



「第3回本部執行委員会」は、9月21日(土)10時40分より本部1階会議室で開催された。

第3回本部執行委員会開催

経過報告と議事については次のとおりであった。

【経過報告】

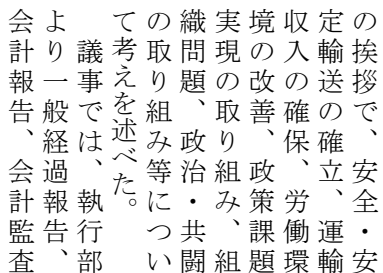
- ・組織の強化拡大(団交)
- ・平成25年度「総合労働協約改訂等」について(JR四国・ジェイアール四国バス)
- ・支部大会(愛媛、本社)

- ・JR九州労組との安全対策会議(部会)
- ・部会三役会議(部会)
- ・部会三役会議(部会)
- ・本部青年常任委員会(部会)
- ・教育・広報委員会(部会)
- ・サークル協議会運営委員会(JR連合)
- ・教育・広報担当者会議
- ・グループ労組連絡会定期総会
- ・青年・女性委員会定期総会
- ・退職者連絡会総会

- ・私傷病共済運営委員会
- ・安全対策会議
- ・ボランティア会議
- ・【議事】
- ①平成25年度「総合労働協約改訂」の交渉経過及び妥結承認について
- ②平成25年度「契約社員賃金引き上げ」の了承承認について
- ③平成25年度「年末手当」要求の基本的な考え方について
- ④職場諸問題の集約について

- ⑤第23回ゴルフ大会の開催について
- ⑥2013年度IT F国際鉄道労働者統一行動日チラシ配布について
- ⑦当面するスケジュールについて
- ⑧その他
- ・分会大会の開催日程について
- ・第18回JR連合セミナーの開催について
- ・第13回青年・女性委員会役員研修会の開催について
- ・JR連合主催「第8回安全シンポジウム」の開催について

- ・第1回組織財政専門委員会の開催について
- ・次期(第4回)執行委員会の開催について
- ・その他



松下委員長は冒頭の挨拶で、安全・安定輸送の確立、運輸収入の確保、労働環境の改善、政策課題の実現の取り組み、組織問題、政治・共闘の取り組み等について考えを述べた。

議事では、執行部より一般経過報告、会計報告、会計監査

角野執行委員の挨拶で始まり、資格審査委員会より大会成立宣言が行われ、議長には松山地区営業・事業分会の橋本代表議員が選出され、円滑な議事進行が行われた。

本社は、9月11日(水)高松市の「高松センチュリーホテル」において、代議

【JR四国】
総合労働協約改訂交渉は、8月30日の第1回目及び9月11日の第2回目交渉において組合側の主張を強く訴え、9月25日に3回目の交渉を行った。

今回の交渉では、要求項目のうち「転勤発令事前通知について、必要性が認められる場合に限り14日前に通知する」「配偶者の出産又は

組合は、「出向以外の転勤発令の事前通知を、必要性があると認められる場合に限り14日前とする」とは、一歩前進と考えるが、我々の要求を踏まえ、必要性

が認められる場合に限り、全ての事前通知を14日前とするべきである。また、「配偶者の出産又は出産に伴う入院に付き添う場合の保存休暇の使用範囲の拡大」については、男女平等参画推進の観点からあくまで有給休暇を求めており、次世代を担う組合員への期待を込めて更なる検討を要請する。

【ジェイアール四国バス】
8月30日の1回目に引き続き9月20日に2回目の交渉を行った。これまでの交渉で組合側の主張を強く訴えながら折衝を積み重ねてきた結果、

「組合員は会社を取り巻く環境の厳しさを認識しつつ、労働条件の向上を強く望みながら日夜、安全・安定・安心輸送に全力で取り組んでいる。今回の交渉で「運行管理手当支給における職名の削除」並びに「定年退職時の保存休暇の引継ぎ使用可能」については我々が強く要求していた内容が反映された回答を得たが、その他の要求項目である労働時間短縮や各種手当の新設及び増額、契約社員の忌引き休暇の日数拡大等は改善できていない。特に、年齢給や職能給の改善、55才到達以降の基本給見直しをはじめとする賃金関係は要望が強く、次年度に向け前向きな検討を要請する」と訴え、16時に妥結した。

総合労働協約改訂交渉 妥結！

【JR四国】
●転勤発令事前通知の早期化！
●配偶者出産に関する休暇制度（保存休暇）を新設！
●ジェイアール四国バス
●運行管理手当の支給対象者の拡大！
●定年退職時の保存休暇残日数の引継ぎ可能！

【ジェイアール四国バス】
8月30日の1回目に引き続き9月20日に2回目の交渉を行った。これまでの交渉で組合側の主張を強く訴えながら折衝を積み重ねてきた結果、

「組合員は会社を取り巻く環境の厳しさを認識しつつ、労働条件の向上を強く望みながら日夜、安全・安定・安心輸送に全力で取り組んでいる。今回の交渉で「運行管理手当支給における職名の削除」並びに「定年退職時の保存休暇の引継ぎ使用可能」については我々が強く要求していた内容が反映された回答を得たが、その他の要求項目である労働時間短縮や各種手当の新設及び増額、契約社員の忌引き休暇の日数拡大等は改善できていない。特に、年齢給や職能給の改善、55才到達以降の基本給見直しをはじめとする賃金関係は要望が強く、次年度に向け前向きな検討を要請する」と訴え、16時に妥結した。



報告、平成25年度の活動方針案と予算案が提起され質疑に入った。質疑では、安全・安定輸送、今後の組織方針、労働環境改善に向けた取り組み等について質問や意見があり、執行部の答弁の後、全体の拍手を持って採択され、最後に松下委員長の団結ガンバローで締めくくり、成功裏に終了した。

なお、役員改選に伴い新役員が選出され、新三役は次のとおり。

- 執行委員長 松下 正弘
副委員長 稲田 耕二
氏中 研吾
氏家 大吉
書記長 武智 義治
書記次長 青木 勇樹

本社支部



賓客の方々の出席のもと盛大に開催された。

大会は18時40分から、長瀬書記次長の挨拶で始まり、資格審査委員会より大会成立宣言が行われ、議長には総務部分会の濱崎代議員が選出され、円滑な議事進行が行われた。

竹原委員長は冒頭の挨拶で、安全安定輸送の確立、運輸収入の確保、労働条件の維持・改善、政策課題、組織問題、政治共闘の取り組み等について考えを述べるとともに、今大会をもって退任することを表明した。

議事では、執行部より一般経過報告、会計報告、会計監査報告、平成25年度の活動方針案と予算案が提起され質疑に入

った。質疑では、組織強化等について考えを述べた後、来賓挨拶を受けた。

議事では、執行部より一般経過報告、

副執行委員長 三好 幸治

書記長 大村 真右

書記次長 池田 佳憲

森安 祐貴

副執行委員長 幸 大

大会は10時30分

から、上田執行委員

の挨拶で始まり、資

格審査委員会の大

会成立宣言の後、議

長に高松分会の佐藤

代議員を選出し議事

に入った。

冒頭の挨拶で井浦委員長は、安全・安定・安心輸送の取り組み、新高速乗合バスの対応、運輸収入の確保、賃金関係、労働環境改善、要員関係等について質問や意見があり、執行部の答弁の後、全体の拍手を持つて採択された。最後は井浦委員長が団結ガムを締めくくりに終了した。

なお、役員改選に伴い新役員が選出され、新三役は次のとおり。

副執行委員長 三好 幸治

書記長 大村 真右

書記次長 池田 佳憲

森安 祐貴

副執行委員長 幸 大

大会は10時30分

から、上田執行委員

の挨拶で始まり、資

格審査委員会の大

会成立宣言の後、議

長に高松分会の佐藤

代議員を選出し議事

に入った。

冒頭の挨拶で井浦

委員長は、安全・安

定・安心輸送の取り

組込み、新高速乗合バスの対応、運輸収入の確保、賃金関係、労働環境改善、要員関係等について質問や意見があり、執行部の答弁の後、全体の拍手を持つて採択された。最後は井浦委員長が団結ガムを締めくくりに終了した。

なお、役員改選に伴い新役員が選出され、新三役は次のとおり。

副執行委員長 井浦 隆

書記長 西村 公夫

書記次長 上田 耕成

竹崎 教幸

岡 誉人

副執行委員長 西村 公夫

書記長 上田 耕成

書記次長 竹崎 教幸

岡 誉人

副執行委員長 西村 公夫

書記長 上田 耕成

書記次長 竹崎 教幸

岡 誉人

副執行委員長 西村 公夫

書記長 上田 耕成

書記次長 竹崎 教幸

岡 誉人

副執行委員長 西村 公夫

書記長 上田 耕成

書記次長 竹崎 教幸

岡 誉人

副執行委員長 西村 公夫

書記長 上田 耕成

書記次長 竹崎 教幸

岡 誉人

副執行委員長 西村 公夫

書記長 上田 耕成

書記次長 竹崎 教幸

岡 誉人

副執行委員長 西村 公夫

書記長 上田 耕成

書記次長 竹崎 教幸

岡 誉人

副執行委員長 西村 公夫

副執行委員長 西村 公夫

書記長 上田 耕成

書記次長 竹崎 教幸

岡 誉人

副執行委員長 西村 公夫

書記長 上田 耕成

書記次長 竹崎 教幸

岡 誉人

副執行委員長 西村 公夫

書記長 上田 耕成

書記次長 竹崎 教幸

岡 誉人

副執行委員長 西村 公夫

書記長 上田 耕成

書記次長 竹崎 教幸

岡 誉人

副執行委員長 西村 公夫

書記長 上田 耕成

書記次長 竹崎 教幸

岡 誉人

副執行委員長 西村 公夫

書記長 上田 耕成

書記次長 竹崎 教幸

岡 誉人

副執行委員長 西村 公夫

書記長 上田 耕成

書記次長 竹崎 教幸

岡 誉人

副執行委員長 西村 公夫

書記長 上田 耕成

書記次長 竹崎 教幸

岡 誉人

副執行委員長 西村 公夫

書記長 上田 耕成

書記次長 竹崎 教幸

岡 誉人